

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例 (平成22年8月第2週までの報告分)

○改善事例1

石綿関連疾患の診断のポイント等を解説した動画のホームページへの掲載

【改善点】

医療機関での石綿関連疾患の的確な診断に役立てていただくため、石綿に関する一般的な知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断のポイント等を解説したDVDを作成し、配布してまいりました。このたび、その内容を、より多くの皆様にご覧いただけるよう、「厚生労働省動画チャンネル」に掲載するとともに、厚生労働省ホームページからも容易にアクセスできるようにしました。

(参考) 石綿関連疾患 診断のポイント (動画)

http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/diagnosis_point.html

(照会先)

労働基準局労災補償部補償課職業病認定対策室

職業病認定業務第二係 (内線 5571)

○改善事例 2

重点分野雇用創造事業の好事例の厚生労働省ホームページへの掲載

【改善点】

雇用失業情勢が厳しい中で、成長分野として期待されている分野における新たな雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用に結びつけるための事業として、「重点分野雇用創造事業」を実施しています。

この重点分野雇用創造事業について、各地方自治体が事業を企画立案する際に、参考とすることができるよう、これまでに実施された好事例（79 事業分）を取りまとめ、厚生労働省ホームページに掲載しました。

（参考）基金事業の事業例（ページ下部）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/chiki-koyou3/index.html>

（照会先）

職業安定局地域雇用対策室地域雇用創出第二係（内線 5318）

○今週の現場訪問・意見交換 1

生活保護法に基づく救護施設への現場訪問

【概要】

生活保護法に基づく救護施設の実態を把握するため、7月30日に、栃木県にある救護施設を訪問し、精神障害等を有する入所者の方の地域生活移行に向けた取組等について、現場職員のお話を伺いました。

この救護施設での取組について、次のことが確認できました。

- ・ 借り上げアパートで実際に生活を行うことにより、買い物、調理、掃除、金銭管理等の生活訓練を実施している。
- ・ 昨年6月から事業を開始した。これまでの訓練対象者8名のうち、4名が地域生活に移行し、現在3名が利用中。（1名は施設へ戻った。）

このような取組は、生活保護を受けている精神障害者の方の地域生活移行に向けて非常に有意義なものと考えられます。今後の施策の企画立案に当たっては、今回の現場訪問を参考にしながら、検討を進めたいと考えています。

(照会先)

社会・援護局保護課予算係(内線 2824)

○今週の現場訪問・意見交換 2

麻薬取締に関する現場の捜査担当官との臨時会議

【概要】

インターネットを利用した薬物の密売や向精神薬の密売など、特に昨今、社会問題化している薬物事犯に対し、更に取り組を強化するため、臨時に、全国の地方厚生局麻薬取締部の捜査担当官による会議を東京で開催しました。（8月3日、4日）

この会議に厚生労働省本省の職員も出席し、これまでの取組のフォローアップや、今後の取締りに関する方策について意見交換等を行い、機動的に現場と意思統一を図るとともに、

- ・ インターネット上の規制薬物に係る監視及び取締り
- ・ 向精神薬取扱者に対する監視指導

などを、更に強化して実施していくこととしました。

（照会先）

医薬食品局監視指導・麻薬対策課総務係（内線 2761）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。